

## 相生市立矢野川中学校の在り方検討に係るアンケート調査

～ご回答のお願い～

陽春の候、矢野川中学校区児童・生徒・未就学児保護者の皆様にはますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

さて、矢野川中学校が第2次相生市立小中学校適正配置計画において、検討を開始する学校に指定されたことに伴い、矢野川中学校区地域協議会を設置し、学校の在り方について協議を進めていきます。

地域協議会においては、昨年9月に決定された矢野川中学校区にある小学校の在り方（若狭野小学校は令和8年4月に青葉台小学校に統合、矢野小学校は令和8年4月から小規模特認校として存続、現状では、いずれも卒業後は矢野川中学校へ進学となります。）を踏まえた中で、子どものことを第一に考えながら、地域における学校の在り方について協議を進めていきます。

このアンケート調査は、地域協議会において矢野川中学校の在り方の協議・検討を進めるにあたり参考とさせていただくため、矢野川中学校区にお住まいの保護者の皆様のご意見をお伺いするものです。

皆様にはご多忙のところ、誠に恐れ入りますが、本アンケートの趣旨をご理解いただくとともに、5ページに市内中学校等に係る参考資料を添付していますので、ご一読のうえ、アンケートにご協力くださいますようお願いいたします。

令和7年4月

矢野川中学校区地域協議会

- この調査票は、矢野川中学校区児童・生徒（若狭野小学校・矢野小学校・矢野川中学校）、未就学児の保護者の方を対象としています。
- ご回答は、該当する番号を○で囲むものや、ご自由に記述していただくものがあります。「その他」にあてはまる場合は、（ ）内にその内容をご記入ください。
- **本調査の結果は、相生市教育委員会において統計的に処理し、回答者個人を特定することはありませんので、無記名でご意見をお聞かせください。**
- 矢野川幼稚園、若狭野小・矢野小・矢野川中学校の保護者の方は、本調査票にご回答を直接ご記入の上、令和7年5月14日（水）までに、本調査票を同封の封筒に入れて学校・園に提出をお願いします。
- 未就学児（矢野川幼稚園以外）の保護者の方は、本調査票にご回答を直接ご記入の上、令和7年5月12日（月）までに、本調査票を同封の返信用封筒に入れて投函をお願いします。

問1 あなた自身のことについてお聞きします。

問1-1 お住まいの地区はどちらの小学校区ですか。

- |            |           |
|------------|-----------|
| 1. 若狭野小学校区 | 2. 矢野小学校区 |
|------------|-----------|

問1-2 あなたのお子さんについてお答えください。

(あてはまるもの全てを選び、( )に人数をお答えください。)

- |                |                |              |
|----------------|----------------|--------------|
| 1. 乳児(0~2歳)( ) | 2. 幼児(3~5歳)( ) |              |
| 3. 小学1年生( )    | 4. 小学2年生( )    | 5. 小学3年生( )  |
| 6. 小学4年生( )    | 7. 小学5年生( )    | 8. 小学6年生( )  |
| 9. 中学1年生( )    | 10. 中学2年生( )   | 11. 中学3年生( ) |

問2 中学生にとって望ましい通学時間と通学方法についてお聞きします。

問2-1 中学生の片道の通学時間はどのくらいが許容範囲だと思いますか。(1つに○)

【参考】中学校の始業時間は、8時20分です。

- |            |          |          |          |
|------------|----------|----------|----------|
| 1. 15分以内   | 2. 30分以内 | 3. 45分以内 | 4. 60分以内 |
| 5. 時間は問わない | 6. わからない |          |          |

問2-2 中学生の通学方法として、どのような方法が望ましいと思いますか。(複数回答可)

【参考】矢野川中学校：徒歩、自転車

双葉中学校：徒歩

那波中学校：徒歩、自転車、スクールバス(鰯浜・野瀬地区)

- |          |           |           |           |
|----------|-----------|-----------|-----------|
| 1. 徒歩    | 2. 自転車    | 3. 公共交通機関 | 4. スクールバス |
| 5. 保護者送迎 | 6. その他( ) |           |           |

問3 中学校の学校規模についてお聞きします。

問3-1 中学校1クラスあたりの生徒数は、何人くらいが適正だと思いますか。(1つに○)

- |           |          |          |          |
|-----------|----------|----------|----------|
| 1. 10人程度  | 2. 20人程度 | 3. 30人程度 | 4. 40人程度 |
| 5. その他( ) |          |          |          |

問3-2 中学校1学年あたりのクラス数は、どの程度が望ましいと思いますか。(1つに○)

- |            |              |              |
|------------|--------------|--------------|
| 1. 1クラスがよい | 2. 2~3クラスがよい | 3. 4クラス以上がよい |
|------------|--------------|--------------|

問3-3 問3で選んだ項目について、そう思われる理由は何ですか。  
あなたの考えに近いものをお選びください。(複数回答可)

1. 一人一人に目が行き届き、丁寧な指導が期待できる
2. クラス替えがあり、たくさんの友達ができる
3. 社会性や協調性を養う機会に恵まれる
4. 学校全体に活気があり、学校行事が盛大にできる
5. ゆとりのある教育が受けられる
6. 部活動等の選択の幅が広がる
7. 学校行事での活躍の場が増える
8. 専門教科の先生の人数が多い
9. 同じ生徒とずっと同じクラスで過ごせ、互いに親密になれる
10. 学年を越えた友達ができやすい
11. その他 ( )

問4 中学校の再編についてお聞きます。

問4-1 中学校の適正配置を考えるうえで、重要視する項目は何ですか。  
あなたの考えに近いものを5つまでお選びください。

1. 中学校は地域の拠点となる施設であり、中学校がまちづくりに果たしてきた役割
2. 地域と近く、地域の人材や自然・歴史を生かした教育活動
3. 学校を支援する地域の力
4. 地域から学校がなくなることの寂しさ
5. 地域に子どもの姿が見えなくなることの寂しさ
6. 今の教育環境の継続性
7. 良好な教育環境の整備を図るための学校規模
8. 多くの友達や教員の多様な意見や考えに触れる機会
9. 子どもたちが持つべき地域への愛着
10. 小規模ならではの長所を生かした教育
11. 運動会や音楽会等の集団教育活動の活気
12. 部活動等の選択の幅
13. P T A役員等になる頻度
14. 個人に係る費用負担 (アルバム代やイベント費用など)
15. 進学・就学等の際に人数のギャップによる不安感の軽減
16. その他 ( )

問4-2 少子化の影響を受けて、市内の生徒数が減少することが想定されますが、問4-1の回答を踏まえ、中学校に対する適正配置（学校統合など）における今後の対応について、あなたの考えに最も近いものを1つお選びください。

※ 矢野川中学校が統合を選択した場合は、隣接する那波中学校との統合になります。

1. 生徒数が減少しても、現行のままの学校配置でよい
2. 現行の学校配置が望ましいが、統合することもやむを得ない
3. 小規模校等を対象に、統合すべきである
4. どちらでもよい

問5 中学校の在り方についてご意見をお聞きます。

問5-1 今後の矢野川中学校の在り方について、ご意見をお願いします。

1 市内中学校生徒数推移（R8以降は推計） (人)

	H21	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
那波中学校	283	201	205	191	201	189	190	186
双葉中学校	415	398	391	400	397	403	383	397
矢野川中学校	138	56	53	51	50	43	38	25
合計	836	655	649	642	648	635	611	608

2 部活動について

(1) 各学校の部活動

学校名	部活動
矢野川中学校	野球、ソフトテニス（女）、バスケットボール（男・女）
那波中学校	野球、陸上競技、ソフトテニス（男・女）、バレーボール（女）、バスケットボール（男・女）、吹奏楽
双葉中学校	野球、サッカー、ソフトボール、陸上競技、ソフトテニス（男・女）、バレーボール（男・女）、バスケットボール（男・女）、卓球、吹奏楽、美術

(2) 部活動に係る地域移行の状況

令和6年度よりバスケットボール部について、土日は合同練習を行っている。

※ 平日については各校練習

今後、運動部に関しては地域連携型での推進とし、休日に団体が受入できる部活動のみ移行する予定であり、部活動にない種目のスポーツについても検討を行う予定である。文化部については、文化協会と連携し、部活動にある部や部活動にない文化活動にも広げていくこととしている。

完全地域展開の時期については、現時点では令和13年度を想定している。

3 適正配置に係る参考資料（市・国・県）

相生市総合計画 <a href="https://www.city.aioi.lg.jp/soshiki/kikakukoho/6soukei.html">https://www.city.aioi.lg.jp/soshiki/kikakukoho/6soukei.html</a>	
相生市教育振興基本計画 <a href="https://www.city.aioi.lg.jp/site/kyoikui inkaitop/r4wakuwakupuran.html">https://www.city.aioi.lg.jp/site/kyoikui inkaitop/r4wakuwakupuran.html</a>	
相生市小中学校適正配置計画 <a href="https://www.city.aioi.lg.jp/site/kyoikui inkaitop/tekiseihaitikeikaku.html">https://www.city.aioi.lg.jp/site/kyoikui inkaitop/tekiseihaitikeikaku.html</a>	
文部科学省（公立小学校・中学校の適正規模・適正配置等） <a href="https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/tekisei/index.htm">https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/tekisei/index.htm</a>	
兵庫県（学校規模の適正化に関すること） <a href="https://www.hyogo-c.ed.jp/~gimu-bo/12scale/scale.html">https://www.hyogo-c.ed.jp/~gimu-bo/12scale/scale.html</a>	